



注目される参院選 野党共闘の力で改憲の動きを止めよう

21日投票で行われている参議院議員選挙。テレビや新聞などで報道されているように、様々な課題をめぐって激しく争われています。憲法に関してみてみます。

5月29日に成立した、安政法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合と、立憲民主党・国民民主党・日本共産党・社会民主党・社会保障を立て直す国民会議、の5野党・会派の「共通政策」—だれもが自分らしく暮らせる明日へ—は、13項目からなっていますが、その中で、憲法にかかわる政策が合意されています。

- 1 安倍政権が進めようとしている憲法「改定」とりわけ第9条「改定」に反対し、改憲発議そのものをさせないために全力を尽くすこと。
- 2 安政法制、共謀罪法など安倍政権が成立させた立憲主義に反する諸法律を廃止すること。

一方、6月7日に発表された自民党の「令和元年 政策パンフレット」は、その最終ページ(p17-18)で「憲法改正を目指す 一国民の幅広い理解を得て、新しい時代の憲法を目指します。」で、

- ・「現行憲法の自主的改正」は結党以来の党是であり、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の3つの基本原理はしっかり堅持し、初めての憲法改正への取り組みをさらに強化します。
- ・我が党は改憲の条文イメージとして、①自衛隊の明記、②緊急事態対応、③合区解消・地方公共団体、④教育充実の4項目を提示しています。
- ・憲法改正に関する国民の幅広い理解を得るため、党内外での議論をさらに活発に行います。衆参の憲法審査会において、国民のための憲法論議を丁寧に深めつつ、憲法改正原案の国会提案・発議を行い、国民投票を実施し、早期の憲法改正を目指します。

このように、自民党と野党の間では大きな違いがあり、選挙結果によっては状況が大きく変化します。九条を守り、また憲法の人権条項を徹底して実施していくためにも、今回の選挙は非常に大切です。周りの多くの人にも訴えていこうではありませんか。
(代田2丁目・伊東 宏)

憲法9条、変えさせない。安倍政治は、もう終わり。

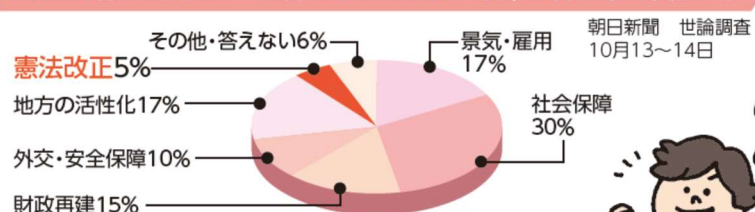
九条の会東京連絡会 6.12 大集会 に参加して

中野ゼロ・大ホールでの集会に参加しました。参加者は約800名でした。コメディアン松元ヒロさんが舞台狭しと動きながら、鋭く安倍政権を批判するパフォーマンスを見せてくれました。長く、大手のメディアから「干されて」いますが、訴える力はすごいものだと思います。元気になれるパフォーマンスでした。

「9条改憲を阻んで安倍政治に終止符を！」と題して渡辺 治さん(一橋大学名誉教授)が、レジメと豊富な資料を用いて講演を行いました。冒頭で、今年は憲法の行方をめぐる正念場の年で、安倍首相は改憲を断念などしていない。参院選に勝負をかけてきた、と指摘されました。安倍首相の狙いはもともと9条2項の削除と自衛軍の創設であったが、2017年以降2項をそのままにして自衛隊を憲法の本文に明記することに変えてきました。この狙いは市民と野党の共闘に分断を持ち込み、うまくいかなくても自公維で改憲につき進めると判断したからだろうと話されました。現在自民党が出してきている「自衛隊の明記」の危険性は、戦争法によって自衛隊を「戦争する軍隊」にすること、9条1項・2項を死文化すること、憲法全体を変質させ「戦争する国」へと進めることなど、4つの危険性を指摘されました。

こうした目論見を阻止するためには、今回の参院選がカギを握っており、立憲野党の勝利の可能性があるので、それに向かって市民と野党の共闘を強化し、さらに安倍政権に危惧を持つ人々の総決起が重要とされました。安倍改憲を阻んで安倍政権を倒すことは、辺野古基地問題や消費税増税阻止や原発稼働阻止へつながっていく、と結ばれました。
(代田2丁目・伊東 宏)

あなたが、安倍政権に一番力を入れてほしい政策は何ですか。(択一)



「世田谷の空が騒がしい—日米安保と日米地位協定」について学ぶ

世田谷革新懇主催の「世田谷の空が騒がしい—日米安保と日米地位協定」と題した学習会に参加しました。日米地位協定について私たちの身の周りで考えてみました。

日米地位協定は、日米安保条約第6条「基地の許与」に基づき、基地の提供、基地の管理、米軍・軍属の地位などを定めた条約です。主な条文を示すと、第2条：米軍は日本全土で基地の使用が認められる、第3条：米軍は提供された基地の排他的管理権を有する、第5条：米軍は自由に港・飛行場に出入りできる、第17条：公務中の事件・事故で第一次裁判権を米国側が有するなどがあります。これらから分かりますとおり、日米地位協定は米軍に絶対的な特権を与えています。米軍には国内法が適用されないのです。

世田谷の空の騒音源は米軍ヘリです。ヘリの空路は決まっています、米軍横田基地から、多摩川上空を南東に進み、登戸の辺りで東に向きを変え、小田急線に沿って六本木の米軍基地に向かいます。世田谷の空は騒がしいはずですよ。

騒音も厭ですが、もっと心配なことはヘリの不時着や墜落事故です。沖縄では米軍ヘリの墜落や、ヘリから部品の落下事故が頻発しています。事故が起これば、人命救助より現場封鎖が優先されるかも知れません。日本の公的機関が事故を検証することも、原因を調べることもできなんでしょう。日米地位協定がある限り、こんな理不尽に我々は曝されます。



全国知事会は、日米地位協定を抜本的に見直し、国内法を米軍にも適用させることや、基地の整理・縮小・返還を促進することなどを提案しています。また7つの道府県議会や、127の市町村議会からも、日米地位協定の見直しを求める意見書が決議されています。

現在、参院選が闘われていますが、市民連合と5野党・会派が合意した13の共通政策で「憲法九条改定に反対する」、「日米地位協定を改定し、沖縄県民の人権を守る」ことが掲げられています。野党と市民の共闘を助け、知事や市町村議員の皆様と共に、日本の主権を取り戻すために、日米地位協定の改定を実現させようではありませんか。
(代田2丁目・坂本 功)

集会等の紹介

7月28日(日) 午後1時半～3時半

映画『The Nuns, the priests and the bombs』 「シスターと神父と爆弾」

会場： 代田教会(無料ですが、お気持ちのある方は、カンパにご協力ください。)

日本キリスト教団 代田教会 代田2-17-14 TEL 03-3414-4393

8月18日(日) 午後2時～ 終戦記念日によせて つどい

映画 「ザ・思いやり」パート2 -希望と行動編-

会場： 代沢地区会館 第4会議室 (代沢5-8-19)

共催： 代田・九条の会/代沢九条の会 参加費：500円

日本国憲法(抜粋)

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。

国の交戦権は、これを認めない。

お願い：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。

また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめてみましょう～

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++